



國內同盟報無線開始

通信界劃期的事業

放送部

いままで個々の受信局に對して電話線によつて流され、又は有線電信で送られたニュースが無線の電波に乗つて瞬時にして而も同時に國內の隅々にまで撒布される同報無線の實現は新聞通信界に於ける眞に劃期的な試みである。此施設は數年來その實現を待望されつゝも色々な關係から許可されるに至らなかつたものであるが今回逕信省の一大英斷に依つて漸くその實現を見、而も同盟のみが享有する特權として悉々五月一日から通信界にデビュウする事となつたのである。戰時體制の強化に依る各種資料の統制は新聞用紙の拂底となりニュース送信の動脈線たる電話線の不足を苦ぐるに至つた此際同報無線の出現は非常時對策の一つとして大なる意義役割を持つものである。

上期間の猛訓練は毎日早朝から深夜まで引切りなしに續けられ一日放送回数二十八回、最高放送字数四萬五千字といふ驚異的なものであつたが、逕信當局はもとより同盟各支社局の諸氏は眞に不眠不休食事をする暇もない程の目ぐるましさを押切り、新しく生れ出でんとするものに對する大きな育みの心と、熱意とで之に當り遂にテストを終り偉大な成果をあげられた事に對しても感謝の外はない、試験の結果に依るニュース送信の速度は一分間七十字が七十五字となり更に八十字から八十五字と躍進し受信より翻譯完了までの平均所要時間も試験放送開始當時の十五分(一千字につき)が十二分になり、やがては十分になり、最近では八分程度の短時間で進行されてゐることは國內放送の眞價に一段の偉力を加へたものと云へる。

國內放送を受信する支社局は札幌、函館、青森、仙臺、新潟、長野、富山、金澤、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、高知、松山、關門、大分、福岡、長崎、熊本、鹿児島、東京、釜山、臺北の二十五ヶ所と新設された旭川、小樽、秋田の三支局と南の臺灣支局の四ヶ所計二十九支社局を數へてゐる。新設四支局長も特に老練な川口彌三郎(旭川)荻原榮次(小樽)藤澤民之助(秋田)大瀧鹿次(臺南)の四氏を拔擢之等新支局長は既に任地にあつて、同盟ニュース普及のパイオニアとして活躍して居る。

かつて國內同報無線は試験期に

號二十三第
月五年五十和昭
行發日五・回一月毎
錢五金部一價定誌本一
錢拾六金(共稅)年
助之幸川大 編發行發
一ノ七西座銀區橋京市京東
社信通盟同 所行發

消息

北支總局長 神子島格郎
事務打合せの爲め東上中の處四月五日東京發歸任
常務理事 島山 敏行
朝日新聞社小西相談役の社葬列席の爲め四月九日西下
外信部長 佐々木潔一
羅馬支局へ轉勤の爲め四月十日東京發歸任
北京支局長 渡邊 純一
天津支局長 牧内 正男
本社歸還に付四月上旬夫々歸社
寫眞部員 中野 正光
石井 周治
昨年秋以來南支作戦に従軍中の處

四月十三日夫々歸社
外經部次長 鹽見 恒明
四月中旬大阪より着任
理事會長 田中 都吉
社 長 古野伊之助
新中央政府成立祝典に言論界代表慶祝使節として四月十七日東京發西下十八日神戸出帆の鹿島丸にて南京へ
政治部員 沼佐隆次
右慶祝使節一行に隨行四月十六日東京發南京へ
寫眞部員 牛島五郎
中支へ出張中の處四月十八日歸社
青島支局長 伴野 昭光
事務打合せの爲め東京中の處四月二十日歸任
社會部員 寺原秀正

同中尉は事務發直後應召中支方面へ出征中の處今般歸還四月二十二日應召解除に付再び社會部へ
英文部主任 村山 謙
中南支總局へ轉勤に付四月二十二日東京發歸任
旭川支局長 川口孫三郎
小樽支局長 荻原 榮治
秋田支局長 藤澤民之助
臺南支局長 大瀧 鹿次
右新設支局長は四月二十二日相前後して東京發歸任
國通編輯局長 帆足 升
四月二十四日來社
中南支總局 平柳 常雄
勤務社員



英の誇る豪華船クレン・エリザベス號が獨艦の襲撃を逃れて紐育に入港の機那 (三月七日)

於ける萬般の準備を完了、悉々五月一日から第一期計畫(前記廿九支社局)を本格的に實施されることになり更に第二期計畫に進む譯である。

さて國內放送實施となれば、四月一日公布された逕信省の同報無線電報規則に依り取敢ず一日放送字数二萬字とし、この構成は一般ニュース一萬五千乃至六千字、相場商況四千乃至五千字で一日二十四時間半から午後二時迄各

三十分置午後二時から九時迄一時間置きとし最終は他の放送との波長の關係から午後十時四十分からとなし居る。

右の様な字数と放送回数とから一回の放送字数は一千字となるのであるが、その時々ニュースの状況によつて或は一千五百字にオーバーし、或は逆に五百字に止めこした操作によつてより完璧なニュースを送る方針である平均一千字の送信所要時間約十二分、翻譯所要時間約八分で僅か二十分に

△政 治

一、吉田厚相時局談(九三五字)
一、企畫誌第四部長決定(二八二)
一、司法辭令(六八八)、定期發勅(三四〇)一、櫻内藏相金融業者と懇談(二四九)一、一段と加重せる對日壓迫手段(比島移民法案、一四八七)一、日佛貿易了解一ヶ月延長(二三〇)一、參議院會中合せ(六五七)一、堀切理事會長と打合せ(一六五)一、地方官辭令(一五二)一、關印問題に關する情報部長談(六五六)一、トルコ大使外相訪問(二六二)一、價格形成中央委員會部會(三九四)一、改組精勵組織大綱(五三三)一、豫算天引論に對する軍の意向(六二二)

△經 濟

一、日本燃料總會(三四二)一、產金獎勵金交付規則公布(八六九)一、十四年度稻作勞働者勞働狀況(七八〇)一、三井南條氏勇退(二九〇)一、手形交換所聯合會(八三三)一、外國定期船を近海へ廻航(二八〇)一、全肥商聯合會(五〇七)

△外 信

一、帝國の對ソ態度不變(六六六)一、獨伊軍事會議(二六六)一、獨外相モスクワ訪問(二七七)一、獨軍戰果發表(四八六)一、米上院軍事預算可決(二〇〇)一、イタリヤの不參戰態度に變化なし(五二二)一、獨は武力併用の和平攻勢か(六五六)一、伊又も召集(六〇九)一、關印の現状維持をハル聲明(二四一四)一、英のノールウエー作威前途困難(七一)一、ハル聲明外務省に傳達か(四二二)一、スターク米海軍作戦部長聲明(六〇五)一、風雲急のバルカン情勢(二〇九四)一、ソ聯ルーマニアに通牒手交(三三三)

△東 亞

一、中銀籌備委員會任命(四〇五) (二面四段へ續く)

英國の「戦争目的論」

ナチス政權の打倒から個人の自主尊重へ

倫敦支局長 長谷川才次

「刻下國際政局の中心的事實は英獨兩國の對立關係である、といつても必ずしも利害の衝突ではない。寧ろ兩哲學體系の對立自由の探求と權力の探求との對立である」(一九二一年九月、ラウンド・テーブル誌)

爾後僅か三年で世界大戦が始つた時の英國外相グレイ卿は英國外務省内外相室の窓に寄り暮れ行くテムズ河を眺め乍ら

「灯は全歐洲から消え去らうとしてゐる、恐らく生きて居る間に再び灯の點せられるのを見ることは出来まい」

と嘆息したと傳へられる。「戦争を止める爲めの戦争」と呼ばれた世界大戦が濟んで二十年、一九三九年九月には英國政府は再びドイツ政府に對して宣戰するの外なきに通つた。而も「國際政局の中心的事實は」四半世紀前に於て然りしが如く、現在に於ても矢張り英獨兩國世界觀の對立ではなからうか?

然し乍らチエンバーレン首相は實際政治家だけに且つ責任の衝に當つてゐるだけに、英國下院に於ける數次の質問にも拘らず「戦争目的」に就ては積極的な言明を一切控へてゐる。一時の昂奮に驅られて抜き差しならぬ言質を與へ英國政府が將來動きのとれぬやうな破目に陥るのを極力警戒してゐるのであらう國際政局は急テンポで展開する。淺き人智を以て將來を豫斷することは實際政治家として避けねばならぬ所であらう。支那事變に關する帝國政府の目標も「暴戻支那の懲罰」から「東亞新秩序の建設」に發展したではないか。英國政府に於ても戦争の當初「ナチス政權の打倒」を標榜し乃至は「ヒットラーを對手にせず」との建前を頻りに強調して居たが最近ではナチスとドイツ人とを峻別するのが事實上可成り無理なことを悟つた結果が、今や、國家至上主義乃至全體主義のドイツ的世界觀に對し「個人の自主」を尊重する社會制度の擁護を「戦争目的」の表看板に塗り變へるに至つた。

英國外相ハリファックス卿は二月廿七日オックスフォード大學での演説で「自由に對する挑戦」と言ふ題下に演説して曰く

「開戦以來「戦争目的」(War aims)の闡明を一特に勞働黨が主張して英國政府に迫つて居るのは周知の事實だ。勞働黨は既に一九四〇年二月九日宣言を發表して「戦争目的」に關する黨の方針を闡明した。即ち

「聯合國の戦争目的はヒットラー主義を打倒してナチスの侵略に由来する不正を是正する」

ことではなければならず、具體的にはポーランド人、チェコスロヴァキア人に自由を恢復し、オーストリア人には「何等の威嚇の乃至

ドイツ國內に於けるナチス運動の推進力はドイツ青年である。ドイツ青年は諸君の考へ方を諒解することが出来ない。諸君の理想はドイツ青年にとつては全く無意味だ。ドイツ青年は獨白の理想を把持して居る。英國人から見て如何に歪曲され如何に不具のと考へられやうとも、幾十萬のドイツ青年は以上の理想の爲に一身を犠牲に供することの時も躊躇しない。諸君と彼等との間には越へ難い障壁が横はつてゐる。然し乍ら苟くも歐洲の青年が終始荒野に生活することを避けやうとするならば否歐洲文明の殿堂に再び法燈を點じやうとするならば、どうにかして此の障壁を取除かねばならない。

然らばハリファックス卿の所謂ドイツ青年の理想は、換言すればナチズムの要請は何であらうか。個人間に於ては自由ではなくして權力である。國家間に於ては共存共榮でなくしてドイツ民族の支配であり征服である。ドイツ人の「聖典」と言はれる「マイン・カムフ」に於てヒットラー總統は曰く

「人類を三種に、即ち文化を創造する民族、文化を傳へる民族、文化を破壊する民族に區別するならば、アリアン人種だけが獨り第一の範疇を代表すると見られやう」

更に進んで

「平和が全世界に行き互るのを眞剣に希望するならば、全力を上げてドイツ人が世界を征服するのに協力せねばならぬ。最も優秀な人種が全世界を征服し、地球上唯一の支配者となるなら平和主義が茲に榮へやう」と述べて居る。

以上「權力と支配」の福音に對し「パックス・ブリタニカ」は自

由と共存とを指導原則とする云ふのが英國人の主張だ。ハリファックス卿は同じくオックスフォード大學に於ける演説の中で次のやうに述べて居る。

「十九世紀英國の實力が何等の挑戦を受けなかつた當時、歐洲に於て右實力の故に不安を感じた國は無く、英國の實力を平和の具として承認しなかつた國もない。英國人の至る所全世界に互り自由の種が播かれ自用的大木が繁つた」

フリードリヒヒ大王からビスマルク公を経てヒットラー總統に至るドイツ民族の指導精神は、恐らく英國人の主張する通り征服と支配とであつたらう。英國人の社會理念がジョン・ステュアート・ミルに依つて最も明瞭に代表されてゐる通り、民權自由を基調として居ることも略々間違ひはなからう。英國人の至る所常に自由の大木が繁茂したかどかは暫く措くとしても、ドイツ人魂を傳統とに力強く根を張つてゐるプロイセン主義

計五十四本で此外海外並に國內相場商況は新聞夕刊の商況面向きとして大體各地共通の要望を満たすため左の種目を各時間の放送に挿入して居るが目下の所では數字の放送には技術的に多少の困難を感じつゝあるの更上一段の研究を重ねる確信性を具現した曉には各地の特に要求する種目を加へ完璧を期し度いと思つて居る。

海外相場及市況

一、海外相場及市況

△ニューヨーク株式、スチール
△アナンダ△ニューヨーク爲替
△ロンドン爲替(電信銀行賣)△米佛爲替△ニューヨーク棉花相場△各地銀塊相場△ロンドン金塊△ポムペイ棉花相場△シカゴ定期小麦相場△カナダ定期小麦相場△ニューヨーク定期砂糖相場

二、内地相場及市況

△東京株式短期(全銘柄、前場寄り、後場寄り)△大阪株式短期(全銘柄、前場寄り、後場寄り)△大阪株式長期(先限、前場寄り、後場寄り)△新東、大新△東京株式長期(三十八銘柄、先限、前場寄り、後場寄り)△東京株式賣物(九銘柄)△東京國債賣物(五銘柄、前場寄り、後場寄り)△東京短期日歩(四銘柄)△東京株式賣場(前場、後場)△東京株式短期組合(新東△東京株式長期取組(當、中、先)△大阪棉花(各限前場一節、前場二節、後場一節、後場三節)△横濱生糸(各限前場一節、前場二節、後場一節、後場二節)△神戸穀肥

國內同報無線第一期計畫の内容は、大體前述の通りであるが暫く之が成績を見た上で更に第二期計畫に入り受信支社局を六十數ヶ所に擴充し一日のニュース送信量も二萬字(新聞記事として見出しの二十五段分)を目標として進む方針である、然し此機構は全く新しい試みとして出現したもので受信の技術的方面はもとよりニュースの整理編輯の點に於ても未だ試練の域を脱せず從來の電話送信の方式に比して幾多不備の點があり季節的地方的に科學的な支障を來たす虞れは免れぬが吾社がニュース送信上に一時代の劃し新聞通信界に貢獻せんと巨額の經費を投じて企圖した此新事業の使命達成に向つて吾々は幾まざる努力と研究を重ね一日も速に之が完遂を期すると共に近き將來に約束するべきより新しくより威力ある施設に對する揺ぎなき礎石たらしめん事を念願し社友各位の支援と協力を切望して已まぬ。

由と共存とを指導原則とする云ふのが英國人の主張だ。ハリファックス卿は同じくオックスフォード大學に於ける演説の中で次のやうに述べて居る。

「十九世紀英國の實力が何等の挑戦を受けなかつた當時、歐洲に於て右實力の故に不安を感じた國は無く、英國の實力を平和の具として承認しなかつた國もない。英國人の至る所全世界に互り自由の種が播かれ自用的大木が繁つた」

フリードリヒヒ大王からビスマルク公を経てヒットラー總統に至るドイツ民族の指導精神は、恐らく英國人の主張する通り征服と支配とであつたらう。英國人の社會理念がジョン・ステュアート・ミルに依つて最も明瞭に代表されてゐる通り、民權自由を基調として居ることも略々間違ひはなからう。英國人の至る所常に自由の大木が繁茂したかどかは暫く措くとしても、ドイツ人魂を傳統とに力強く根を張つてゐるプロイセン主義

乃至ナチズムを如何にして打倒しやうと云ふのだらうか、ナチズムを打倒出来てもドイツ人の民族精神を入れかへることはドイツ人を變じにしない以上困難だらう。歐洲戦争が英獨兩國人の「哲學體系」の對立に原因して居るとすれば、「歐洲文明の殿堂に再び法燈を點ずる」事は全く容易ではあるまい

世界大戦當時のやうに「戦争を止める爲めの戦争」と云ふことを再び聞かないのは、以上の事實に對する認識の確立と將來に對する不安とに基づくだらうが、此等將來の問題は暫く措くとして、英國政府が今回の戦争に於てナチズムの侵略を喰ひ止め自由を確立することを當面の目的として居ることは疑ひない。最後に再びラウンド・テーブル誌を引用するならば

「北海に於て乃至マヂノ線を隔てゝ對立して居るのは兩民族乃至兩帝國ではない。相對立する人々生觀が將來の支配を目指して抗争して居る」

戰 時 下 の

ロンドン便り

ロンドン支局 久野 茂 男

お變りないことと思ひます。ロンドンに来て早や三ヶ月、この頃ではどうやらブラック・アウトにも慣れきつて、暗夜のバスに乗つても大體街の見當がつく程度になりました。

いつも乍らロンドン便りの書き出しは、ブラック・アウトに初まつて恐縮です日々のお天氣が挨拶代りになるのと同様に、今では珍らしくも、おかしくもないと思つてゐるこのブラック・アウトが、やつぱり知らず識らずの間に、話題の方向を引つて了ふのです。殊に戦前のロンドンを知らない僕なんか、若しいつの日か

日本へ

歸つて、ロンドンはどうだつた、と訊かれたら、言下に「暗かつた」と答へるでせう。光に餓えきつてゐる僕たちは、時々、まつくらな大通りを歩きながら、この街々に一時にパツと燈がついたら、どんなに素晴らしいだらうと想像するだけでも心がおどります。だがいざ、ほんとうにパツとロンドン中が明くなつたら、今度は却つて、はてこれがロンドンだつたか知ら、と首をかきしげるかも知れません。最近の統計によると、ブラック・アウトによる交通事故の

死傷者

数は、昨年九月初から十二月末日までの四ヶ月間に、實に五十萬人に達したとのこと、西部戦線で死んだ兵士の数は全部で十人にも足りないのに、國內のブラック・アウトでは、毎晩二十三人の割合で死んでゐるとは奇怪千萬だといふので、

議會でも大分問題になりました。昨今では交通巡査が、夜になるとフィンランド兵みたくに、眞白なオーツアを着て十字路に立ち、暗夜でもよく識別できるようにしてゐます。今に一般の通行者も、白衣をまとふべし、といふことにならぬかも知れません。數十年ぶりでヨーロッパを襲つた寒波のためにロンドンの冬も

今年

かなり酷しく、雪もかげで流感も猛威を揮ひ、支局でも四人のうち、次々に三人までやられました。しかし面白いことに日々天候はその日の新聞には一行も出ません。空襲の脅威がある近代戦では、天候は重要な軍事上の機密ですから、約一週間を経た後、はじめて發表を解禁されるのです。この間は、珍らしい大雪があり、全国各地で列車が立往生したり、崖崩れがあつたりしました。各新聞は一齊に、その事件だけは報道したけれども、それが何のために起つたかといふ原因には全然、觸れず、まことに珍妙な記事でした。勿論

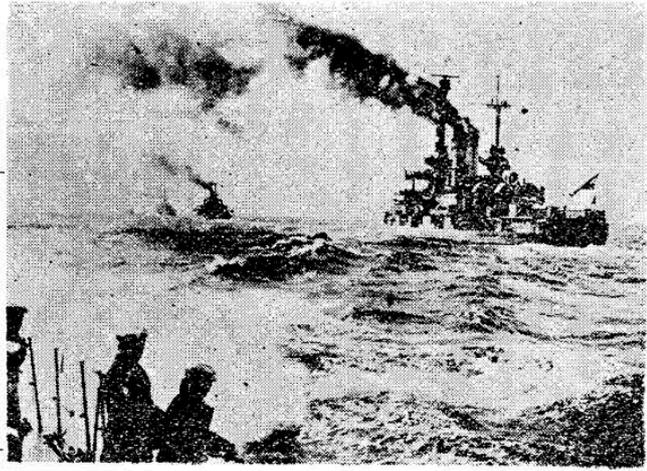
寫眞も

一定の日が経つてしまつたまま、雪の日にハイド・パークでスキーをしてゐるような寫眞が新聞に出て「おや、こんな寫眞をよく出したな」と思つてみるとその寫眞説明にはちやんと、一週間の或る雪の日と斷つてある始末です。寒いとは言へ、二月も早や末で

すから、時折は残雪のあひ間に春のほひが感ぜられ、日も大分長くなつて來ました。これからは感々散步に、ドライブに、ゴルフにテニスに、冬ごもりのうさをほらすスポーツ・シーズンです。在留邦人の間のゴルフ熱は相當なもので、日本ではゴルフ・リンクを畑にしようといふ案まで飛び出してゐるようですが、氣候と環境の上から、健康を養ふスポーツとして邦人の多くがゴルフを選んでゐることは、決して責むべきことではないでせう。幾多の自稱

天狗連が

今から胸を撫して陽春來を待ち受けてゐるようです。だがしかし、この陽春來は、楽しい期待であると同時にまた、一寸不安な待ち人でもあります。いはゆる複雑怪奇な歐洲戦局は、實際ブラック・アウトさへなれば、戦時下であることを忘れるほどの状態が果していつまで続くか。これは今日、ひとり英國のみならず、全世界の關心の的でせう。古來、大武力衝突を伴はない戦争といふものはその例がなかつた。若し今度の戦争もその例外であり得ないとすれば、少くとも今日の状態では、武力攻勢のインシアテツをこるものは獨



北上する 獨逸艦隊

軍である。果して然らば、その勢い如何、一といふようになつて來ると、こゝに再び陽春三、四月の候を期し、いよいよ獨軍は一大攻勢に轉ずるだらうといふ風説が生れます。しかもその形勢は、マチノラインの存在が、西部戦線における戦闘を、事實上不可能ならしめてゐる以上、一途にロンドン大空襲の形をとつて來るものと豫想されれば、これは英國としても餘り氣持のよい話ではありませぬ。勿論、ドイツが今攻勢に出ることが、果して有利であるかどうか

これには又色んな議論のあるところ、恐らくそれはドイツにとり決して良策とは言へまい。軍需資源、殊に石油の缺乏をおそれるドイツとしては、今後とも當分の儘の對峙状態を續けるだらう。否つとけざるを得ないだらう、この氣の短い日本人からみると、よくまあ飽きもせず面白がつてゐるものだと呆れる位ですが、この頃は幾帳面にガス・マスクを持ち歩いてゐる通行人は、十人のうちせいぜい二人位しかないとのこと、週末には酔つぱらひ男女のカン高い歌聲が暗夜をさまよひ、ウェスト・エンドには開戦以來ナイト・クラブの数が急激に増えて、制服の男女が一般の禁制時間をよそに終夜おどり狂ふことも出来るのは些かドイツをなめた安易さのさせる業でせう。

しかし一たびドイツ機の集團空襲來らば、ロンドン市街の半は上海の開北みたいに、瓦礫の場と化さねばならぬことを覺悟せねばなりません。古い都市であるだけにロンドンの建築物は鐵筋コンクリート建の様な新しいものは極く少く、多くはたゞ煉瓦を積み重ねた様な家です。こんな建築物は四五階くらい譯もなくぶち貫いて、地下室まで吹き飛ばして了ふでせう。今まではたしかにやつて來なかつたが、これからの可能性がないとは誰にも斷言できないことと、こればかりはヒトラー自身に聞いてみなければ判りませぬ。

最近の

面白い現象として、ある人がこゝにいふことを教へてくれました。戦争が始つて以來、英國人の間に占ひとか判じ物とかパズルの類が非常に流行つてゐるといふのです。なるほど氣をつけて見ると、新聞などにも各種の判じ物がよく出て居り、ラヂオでもやつてゐます。もつともクロス・ワード・パズルは今に始つたこととなく、日本にも數年前にはやつたことがある、あの時分から今日まで、英國ではつと流行りつゞけてゐるので、氣の短い日本人からみると、よくまあ飽きもせず面白がつてゐるものだと呆れる位ですが、この頃は幾帳面にガス・マスクを持ち歩いてゐる通行人は、十人のうちせいぜい二人位しかないとのこと、週末には酔つぱらひ男女のカン高い歌聲が暗夜をさまよひ、ウェスト・エンドには開戦以來ナイト・クラブの数が急激に増えて、制服の男女が一般の禁制時間をよそに終夜おどり狂ふことも出来るのは些かドイツをなめた安易さのさせる業でせう。

河北省官吏見學

河北省官吏訪日視察團河北省公署秘書處秘書范與伯氏ら一行二十名は十三日午後一時同盟本社を訪問、横田東亞部長の説明を聴き東亞部員の内社内を見學した

いふことじやないかと思ふのです。戦争は始めてみたが、奇妙な 戦争で、その將來は、誰にも見當がつかない、各種の國家統制だけではどんどん伸びて來て、この頃では好きなお茶にも砂糖が足りず、甘くも何ともないような奴をのまされる。一體どうなるのか、と考へてみたつて、豫言は畢竟するは豫言で當るも八卦、當らぬも八卦だ。それ位ならいっそ、眞面目に考へるだけ損みたいもので、戦争中だといふのに今さら固苦しい本を讀んで勉強する氣にもならず、かと言つて夜はブラック・アウトだから自然、家に引こもり勝ちとなる。結局、判じ物でもやらうか、といふところに頭腦の刷け口を求めることになります。一寸面白い現象じやありませんか。けれどもそれだからと言つて、英國人の 凡てが一時の安逸と無氣力な怠惰にその日暮しを送つてゐると云ふならそれは明かに誤りでせう。少くとも今までのところ、英國の戰意はかなり鞏固な決意を土臺としたものであり、各般に互る極めて眞剣な總動員戰闘態勢は、日一日、着々と整備しつゝあると言へませう。英國が今次戦争を如何に重大視し、深刻視してゐるかは、見のがしてはならない點だと思はれます。あれやこれや、まだ色々書きたいこともありますが、餘り長くなりませうから、今日はこの位にして、遙かに御健康をいのりつゞ筆を擱きます。(二月十八日)

文化映畫の畫面と解説

同盟講習生 大森武雄

文化映畫のシナリオを創作するに當つて、先づ直接的に、畫面、解説、伴奏の構成が考へられなければならないが、その中、解説に對する畫面の構成程、荷厄介なものはない。

畫面はシナリオ作家の奔放なるイメージに依り、創られるのであるが、必ず解説にマッチした聯關性の在るものでなければならぬ。

たとへば、爰に「水」と題する文化映畫シナリオを作成せんとする場合、最初に解説が「水は吾が地球の四分ノ三を占め、吾々が生くる上に無くてはならないものであります。」

と来たならば、畫面は何か、水に關係のあるものを映さなければならぬが、扱つて、何が、いか？と迷つて了ふ、茲において、シナリオ作家の頭腦を去飛するものは、谷川を滔々駛る清冽なる水か、渺々たる大海原に狂濤する波か、淨水場の水か、マラソン選手の引繼點で水をあはつてゐる所か、種々と考へられるであらう、一體何の場面か、この解説に一番良くマッチした場面であらうか、それを先づ選擇するのが、當面への課題となる。

× × ×
水が地球の四分ノ三を覆つてゐる、といふ解説に對する畫面は、水は吾々が生くる上になくてはならないものであります、といふ解説に對する畫面より、それを表現することが、遙かにむづかしいのである。無論、これを線畫や模型に依りて表現するのなら難作はない。

が、この方法は、たゞでさへ無味乾燥に成り勝な文化映畫において、成る可く避けたい方法である。

× × ×
しからば、解説に最も良くマッチした水の場面は何んであるか？なる問題となるが、その前に、解説を一形式とする文化映畫は、シナリオ創作に當つて、畫面の構成より早く、解説が先行したることを、覺えてをかなければならぬ。

× × ×
しかし乍ら、觀者側からみると、先づ最初に彼、の感覺に這入り來たるものは、銀色のスクリーンと、美しい伴奏であつて、解説ではないであらう、觀者は最初の一瞬において、畫面からすべてを心家に受入れる、この場合その解説は、畫面を捕捉するものか、畫面と統一的關係を示すものかに留意し、觀者の全體的判斷の極く少い部分に置かれるものである。

× × ×
これを、ラジオニュースで聴取する場合に比較すると、ラジオの場合聴取者の神經の重點は、いふ迄もなく聴覺に集中され、視覚はたゞ虚なる空間に、ニュースの内容となる種々な情景を、想像或ひは空想するのみで、判斷に大した役目を演じない。

× × ×
しからば、映畫においては、觀者側に眞先に飛込んで來るのは、畫面である、映畫において畫面は、觀者に先入主としてさへ感覺される、しかして、文化映畫は畫面を基調として、解説、伴奏を從へ展開されていくものである——これ

は觀者側から見た映畫への眼と耳である。

× × ×
處がシナリオ作家の創作過程はこれと順序が反對である、彼の先づペンを書き出す所は、解説で、その次が畫面である、たとへば畫面のイメージが最初に浮んだとしても、必ずその根柢には、畫面の基礎となるべき解説(テーマ)があつた事は必然である。

× × ×
かく考へてみると、シナリオ作家と、觀者側において、映畫を作る感覺と、映畫を見る感覺の順序において相反する事が發見される、即ちシナリオ作家の感覺は、テーマを基調として進行し、觀者

側は、畫面を基調として進行していく事が分る。

× × ×
爰に解説にマッチした所の畫面の必要が強く促されてくるのである、大海原が現れたとて淨水場が現れたとて、觀者は水が地球の四分ノ三を占むること、幾分なりとも察することが、出来るか如何か、それは頗る疑問である。

× × ×
このひとつの點においてすら、劇映畫と異なる文化映畫の發展性を、充分検討しなければならぬ、餘地が残されてゐるのである、それは、畫面の聯關性を如何に保つていくか？の問題と共に、今後に残された文化映畫製作の一課題であらう。

憲兵學生見學

陸軍憲兵學校學生五十名は水垣教官引率の下に十三日午前九時同盟本社に來訪八階會議室に於て古野社長から國際宣傳戰の實情同盟



通信社の使命機構新聞社との關係などにつき一時間半にわたる説明を聴き、別館映畫部で同盟製作ニュース映畫「報道挺身隊」スバイ

側は、畫面を基調として進行していく事が分る。

× × ×
爰に解説にマッチした所の畫面の必要が強く促されてくるのである、大海原が現れたとて淨水場が現れたとて、觀者は水が地球の四分ノ三を占むること、幾分なりとも察することが、出来るか如何か、それは頗る疑問である。

× × ×
このひとつの點においてすら、劇映畫と異なる文化映畫の發展性を、充分検討しなければならぬ、餘地が残されてゐるのである、それは、畫面の聯關性を如何に保つていくか？の問題と共に、今後に残された文化映畫製作の一課題であらう。

× × ×
これを、ラジオニュースで聴取する場合に比較すると、ラジオの場合聴取者の神經の重點は、いふ迄もなく聴覺に集中され、視覚はたゞ虚なる空間に、ニュースの内容となる種々な情景を、想像或ひは空想するのみで、判斷に大した役目を演じない。

× × ×
しからば、映畫においては、觀者側に眞先に飛込んで來るのは、畫面である、映畫において畫面は、觀者に先入主としてさへ感覺される、しかして、文化映畫は畫面を基調として、解説、伴奏を從へ展開されていくものである——これ

× × ×
水が地球の四分ノ三を覆つてゐる、といふ解説に對する畫面は、水は吾々が生くる上になくてはならないものであります、といふ解説に對する畫面より、それを表現することが、遙かにむづかしいのである。無論、これを線畫や模型に依りて表現するのなら難作はない。

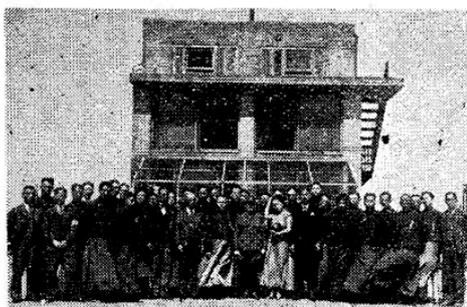
御協力を乞ふ

本格的活動開始に當り

調査部

午後二時同盟本社を訪問八階會議室で堀常務理事から歓迎の挨拶と同盟の現勢につき説明を受け範圍京會館で同盟主催すき焼パーティーを催した。(寫眞は記念撮影)

人間と資料の不足で今まで名ばかりだつた調査部も愈々四月から本格的な活動を開始し左の様な陣容を整備するに到りましたから記事執筆上、或は其他の原稿執筆等に際して出来るだけ御利用願ひま



一、人物資料 約五萬人の有名な略歴資料が略完備し、今後前記圖書類に掲載される人物資料は全部切抜保存の豫定
一、事件資料 中央紙(四月一日以降)地方紙(五月一日以降)の政治・經濟・社會・學藝・運動等各記事大小を問はず分類保存(三月以前の分も目下整理中で、一應照會下さい、右記事分類方式は各部に添附してあります)

一、官廳・團體職員録・官廳の分は既に中央地方各官公署の重要職員録を完成、異動はその都度訂正整理してあります。
尚右に就いて本社及地方支社局の社員各位へ、資料擴充のため左記により御協力をお願いいたします。

一、寄贈 不要圖書、新聞、雜誌、スクラップブック、人名録、官廳調査資料類等御寄贈下されば御存名録記の上保存致します。
一、返却條件付寄託 前記資料で目下御手許で保存困難のもの等に就き、廣く利用を希望されながら將來返却希望のある場合は「返却條件付」として寄託下されば、鄭重に保存御預り致します。
一、讓渡 前記資料で讓渡希望のものは、書籍商立會鑑定の上適當價格で譲り受けいたします。

華北記者團見學

戰時下躍進日本の姿を視察のため四月九日北京を出發十四日神戸に上陸關西各地を見學二十一日午後入京した華北中國記者團一行團長臨時政府新聞檢査所々長范范陽氏ら三十名は指揮班長崎大尉市橋報道部囑託引率の下に二十三日

北歐戰の展開と 同盟電の活躍

外信部

岩本清

四月九日のことである、夕刊記事も大體片附いて一息ついた午後一時四十分、宛如ニューヨークから至急電が舞込んだ、「ドイツ軍デンマークに侵入す」と。

もう夢中である、後から後から至急電が續く、「獨逸軍コペンハーゲン占領」、「ルルウエー對獨逸戰」等々々。外信デスクの興奮は瞬く間に全編輯室を包む、同報につぐ同報の連發である。

「かくて昨年九月開戦以來、派生的に起つたソ芬戰爭を除いては、英佛對獨逸兩軍共に西部戦線に相對峙した儘滿を持して放たず、半歳餘の長きに亘つて「戰鬪なき戰爭」と呼ばれた歐洲戰爭も漸く多眠状態を脱し、新たな段階に入つたのである。

同盟電の威力

デンマーク、ノルウエーに對するドイツ軍電撃作戦、これに引續く北歐戰の展開に關するニュースは、大體至極順調な入電振りを示し、同盟電は終始他紙の特電を壓して全國各紙の紙面を賑はし、有事の際に於ける同盟通信網の威力を遺憾なく發揮し得た。

ベルリン、ロンドン、の兩支局からは英獨双方の發表する戦況が細大漏らさず詳報され、これに對し最も生々しいスポット・ニュースは、ニューヨーク支局から他の追隨を許さない敏速さを以て速報された。これが大體刻々と展開して

ゆく情勢の大筋はつかむことが出来たのであるが、これに加へてストツクホルム、パリ、ローマ、ジュネーブ、イスタンブールその他各地の同盟特派員からの觀測電、或はDNB(獨)、ロイター(英)、アグアス(佛)、ステファニ(伊)、タス(ソ聯)等各縮盟社の放送乃至は直電が洪水の様に入つて同盟電の内容を益々多彩ならしめた。

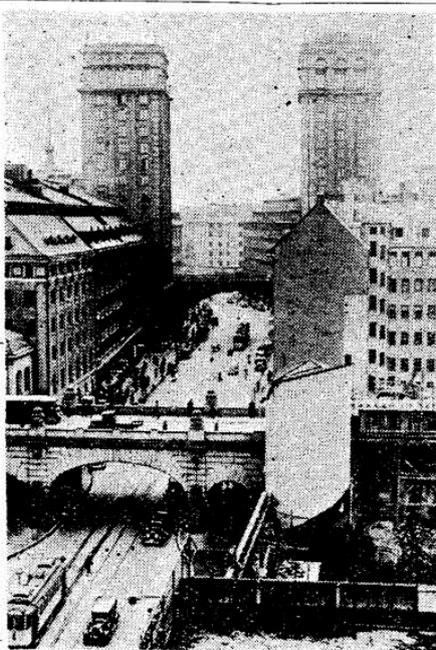
猛烈な宣傳戰

歐洲戰爭が始まつてから、交戦各國の宣傳戰が武力戰、外交戰と併行して非常に激化して來たことは、我國の等しく痛感する所であつたか、北歐戰の展開と共に俄然この宣傳戰は白熱化して來た、英獨双方の放送する戦況にしても、その間多少の食違ひのあるは當然のことであり、從來も屢々見られた現象であつたが、今度の北歐戰に於ては、宣傳戰の激化を如實に反映して、兩交戦國の主張する戦果には餘りにも大きな相違がある、外信デスクの連中も暫し筆を投げて長嘆するといふやうなことも珍らしくない。

然しこの點我々が意を強くするに足るのは、我社の通信網が前述の如く完璧な陣容を誇つてゐることである。英佛獨交戦國からのニュースは勿論のこと、あらゆる方面からの情報も夜となく晝となつて東京の本社へ集中される。我々はこれ等のニュース洪水の中から

慎重に取捨選擇し、彼我對照して最も正確な且公平なニュースを編輯し同盟電として配信してゐるのである。戰鬪の行はれてゐるのは北歐僻遠の地である。交戦國の宣傳戰は今後も愈々激化してゆくことだらう。然し我々には上記の様な通信網がある、比較的人電ソースの限られた新聞社の場合とは異り、同盟電が全然一方の宣傳戰に乗ぜられて、餘りにも本筋を逸脱した方向に引づられてゆくやうなことは萬あるまいと確信してゐる。

ストツクホルム特電



危機迫るストツクホルム市

地となつたといふことは、同時に又同地が國際的デマの策源地となつたことを意味する。かうした状況の下で、我々がこの際特筆したいのは、我が同盟が日本人唯一の特派員として前ベルリン支局長安達鶴太郎君を同地に置いてゐることである。安達君は昨年未ソ芬戰爭が勃發するや、時を移さずベルリンから急行、この場合も唯一の日本人記者として空爆下のヘルシンキに一番乗りをした。ソ芬戰爭終了後、北歐の情勢漸く微妙なるを見て、安達特派員は暫くストツクホルムで待機することとなつたのであるが、同君の

北歐戰が始まつてからスウェーデンの首都ストツクホルムは俄然ニュースの中心地となつた形である。現在ノルウエーに於ける戰鬪はいづれも山岳重疊たる僻郷の地で戦はれてゐる。しかも同國の首都オスロから逸早くドイツ軍の手中に歸してしまつた今日、戦況に關する情報は自然最も早くストツクホルムに達する。英獨双方の戦況發表を除き、ノルウエーの戰鬪状況についてはストツクホルム電の最も多いのはこの關係によるのであるが、通信機關の不便な北歐でストツクホルムがニュースの中心

ニユース蒐集並に打電の手順が愈々出来上つた時、北歐戰の勃發を見たことは我社にとつて極めて好都合であつたといはなければならぬ。同盟の歐洲陣容

三支局長赴任

の歐洲に於ける各支局の現陣容を紹介しておきたいと思ふ。
△ロンドン支局
長谷川才次(支局長)小寺巖、河上洪、久野茂男、松川梅賢、山内留三郎
△パリ支局
入江啓四郎(支局長)井上勇、ベルチナツクス

國內同報無線實施に伴ひ新設された小樽、秋田、臺南の三支局長は左の如く赴任し支局開設準備中である。
▲小樽支局長 荻原榮治氏は家族同伴十八日午後九時上野驛發列車で赴任
▲秋田支局長 藤澤民之助氏は二十日午後十一時上野驛發單身赴任
▲臺南支局長 大瀧鹿次郎氏は二十二日午後八時東京驛發列車で單身二十四日門司出帆大和丸で赴任出發

▲支局開設
清津支局 清津府浦項洞八一
小樽支局 小樽市港町一六
旭川支局 旭川市三條通九ノ左一
秋田支局 秋田市大町一ノ一四

▲支局移轉
九江支局 九江市庚亮南路四一號
廈門支局 廈門市同文路三九號
△柏林支局
江尻進(支局長)、佐藤重雄、友枝宗達、邦正美
△ローマ支局
下條雄三(支局長)森元治郎
△モスクワ支局
久我豐雄(支局長)
△ジュネーブ支局
本田良介(支局長)小島亮一

△ストツクホルム特派員 安達鶴太郎
△イスタンブール特派員 大屋久壽雄
歐洲の情勢は依然險惡である、何れを見ても煙は既に上つてゐる今後の戰鬪の發展に備へて我々は近き數名の新記者を動亂の歐洲に特派する方針である、外信部次長佐々木一君は、既に去る四月十日勇躍東京を出發、折からの訪伊經濟使節團一行と同船して一路ローマに向つたが、他の後續部隊と近く歐洲に向ひ夫々の部署に配屬される筈である。
戰火の北歐波及と共にオランダ、ベルギー兩國並にバルカン方面の雲行も次第に險惡となり、就中バルカンには何時戰火が飛出すのかも測り難いやうな情勢にあるこの間に處し既に大屋特派員はバルカン、近東方面のニュース中心地、イスタンブールに待機中であり、一方更に近く新銳の記者がバルカン方面に乗込むこととなつてゐる。かくて一旦バルカンが戰火の渦中に捲込まれた場合、我社は全世界に亘る同盟通信網を動員し、北歐戰と同様、他の追隨を許さない陣容の整備振りを務めることが出来るであらう。

現地戰士への感謝

最後に忘れてならないのは在外各特派員諸兄の献身的御努力である、戦時下日常生活の數々の不便は別としても、取材の困難、嚴重な檢閲、それに發電上の種々の制限、然も二十四時間ぶつ續けての緊張に夜も満足に眠れぬことであらう、一々の電報の發電時間を見る度に特派員諸君の苦心が眼に浮ぶ、然し戦争はどうやら長引きそうである、第一線にある特派員諸兄の御自愛を祈つて止まない。

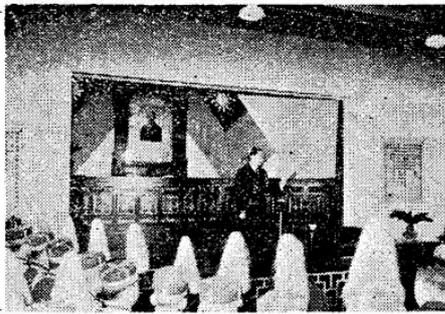
訪日 華北記者團を接待して

東亞部 長谷川 仁

北支軍報道部より派遣された訪日華北記者團(郭陽氏以下三十五名)の一行は軍報道部長崎大尉引率の下に去る四月二十二日晴れの帝都入りをした、一行今回の訪日の目的は云ふ迄も無く、東亞新秩序建設に邁進する日本の眞の姿、文化教育産業等各方面に於ける興亜日本の躍進振りを隈無く視察する事にあつた、一行は華北各地の新聞社を代表し之に華北の女子インテリを代表する若き文藝雜誌記者の紅二點更に最近評判の新進流行作家を加へた錚々たる顔觸で支那民衆をリードするベンの戰士達である此の意味に於ても一行の使命は重大であり今後の對民衆工作に偉大な効果を發揮するものと思はれる。

一行の世話は北支軍報道部よりの依頼で一切我が同盟が引受け北支出發から滿洲國視察に至る迄、同盟は出來得る限りの便宜と支援を與へて接待する事になつたが東京に於ける一行の接待は大川庶務横田東亞兩部長指揮の下に同盟の顔役杉田、龜田の兩氏が萬事擔任し之に記者も加はつて案内役の光榮を擔つた、一行は門司に到着、先づ工業都市大阪、古都奈良を見學し終つて東亞の中心として百餘の施設充實し近代文化の壯觀を世界に誇る大東京を十分に見學させ様との大川部長苦心のスケヂュールに依つて二十二日より約一週間に亘り一行は只驚嘆と感激の裡に視察日程を終つた、東京の中心街銀座大衆の娯樂境淺草を歩いて彼等に十分に日本の國力の充實してゐる事を認識せしめる事が出來た

事は東京の目的を十分に達成せしめたものと云へよう。
現地に於て彼等は常に重慶側の執拗な逆宣傳に困惑し動もすれば之に動かされんとする對日思想を門司に到着した瞬間に完全に拂拭したと北京同盟總局陳君の偽はり無き告白を記者は耳にしたホテル



中政會議に於ける汪氏の演説

百貨店に於ける女店員の親切なサービス、街ゆく娘の淑かさを目撃して「日本の女性の柔順とよく働く事は日本の持つ誇りの一つだ」と絶讃し自國の女性を盛に攻撃してゐた事は非常に痛快であつた。東京市内の文化施設を見學し毎日のスケヂュールに憩む間も無い一行に自然の風光を樂しませようと二十七日一行を箱根に案内した熱海よりバスで箱根に至り途中十國峠の四圍開豁、碧く澄み渡つた大空へくつきりと浮き出す神々しき富士の靈峰に一行はバスの中で感激の拍手を送つた、就中流行作家の李君は「支那人を偉大なる民

族にさせる爲には富士山を大陸に移す事だ」と叫んで記者の手を固く握りしめ雄大壯麗な大自然の懐は黃龍萬丈の大陸人士を力強く抱擁してしまつた飄飄湖、蘆の湖を船で渡り強羅の温泉に旅塵を洗ひ羽化登仙の想ひに一夜を明かした

一行の滯京中數々の珍談笑話もあつたが流石華北を代表する新聞記者だけに視察も鋭く、細部に互る質問に風俗、人情等に關する質問には案内役の記者も相當閉口したが日本人の愛國心の強烈さ物當深き理解した様に見受けられた支那人は個人としては誠に愛すべき民族であるが團體行動の「漫々

的」他人の迷惑を考へざる「利己心」の強き等支那人としての缺點を發揮した事である、殊に婦人が利己的である點は對支文化工作の將來に多大の考慮を拂ふ要がある。民族性を短時に是正する事は到底出來無いが現在支那女性をリードしつゝある外人教育を受けたる知識階級に對しては根本的に指導方針を是正する必要があると思はれた。
今回の新聞記者團が深く日本の實情を認識し日本人情の機微に些かでも觸れ感激しつゝ歸國した事は今後の華北民衆の正しき指導の上にならざるを得ないものと信ずる、また一行は同盟の盡力に對し衷心から深謝し横田、大川、杉田龜田四氏の連日に互る費心によつて同盟に對する認識を新たにした事は東亞操縦者の新聞を通じて親善融和を一段と促進せしめるであらう。

内地人羨望の 白米は生蕃街に

臺灣視察記 芥川 典

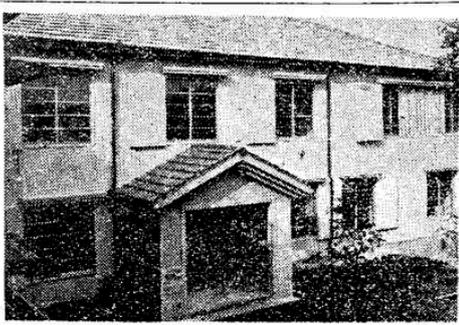
小磯折相の臺灣視察旅行に同行して四月十七日以来約二週間臺灣の各主要都市其他を視察して來ましたが、驚いた事は米の國砂糖の國產米島に内地では想像外の米、砂糖飴饅頭を現出してゐる事です。米は何れも切符制度で大體大人一日一合四勺程度それも四分搗に餅米を混入し、且つ一斗に就き四割の芋を混入せよと云ふお達しで、旅行者等も前もつて通知がなければ米にありつけないと云ふわけですが、料理屋でも飲食店でも「御飯物は特別の場合以外はお出致しません」と云ふ話、小磯折相も宴會に出た迄はよかつたが腹が減つて一行大困りと云ふ様なことも事實あつたわけですが、人力車夫君曰く「内地米あるか、こち米ない。皆支那へ持つて行つたよ走ると腹減る」と云つて柳で走るの沙汰どころではなく、全く歩いてゐるのが事實です。歸途船の中であの旨くないと云ふ白い色の米を見た時の嬉しさは又格別でした。

米で面白い事は生蕃で、これは現在保護政策を執つてゐる關係上食物は食ひほらう、現在日本で

純粋の白米を食つてゐるのは恐らく生蕃だけでせう。生蕃も近頃は却々進歩して出しゃばりの女の事を稱して「あれは宋美齡だ」と云つてゐます。佐藤春夫の臺灣遊記以來有名な日月潭も今は電力資源の中樞です。詩の國の臺灣も南進政策の據點として時局下の重壓に苦しみ乍らも躍進してゐる様です。

同盟學寮竣工

麻布市兵衛町の高臺に工事中であつた同盟學寮は此程完成、愈々五月一日より七十名の寮生が木の香も新しい新館に規律ある生活を始める事となつた。



堀理事母堂逝去

同盟通信社常務理事堀義貴氏母堂菊乃自は四月十八日午前十一時十五分芝區三田綱町一の自邸で心臓麻痺のため急逝された、享年七十七、葬儀は廿日午後一時半から本郷區弓町本郷教會に於いて額田牧師司會のもとに基督教式に則り執行、ついで二時半から三時まで一般告別式が営まれたが、新聞通信關係者をはじめ外交方面、その他多數參列盛儀であつた、尙遺骸は式後桐ヶ谷葬場に於いて茶毘に附された。

「商通部」新設

從來經濟局は外徑・内徑・商況の三部に分れてゐたが、五月一日職制を改正して「商況部」を「市場部」と改稱し、外に「商通部」を新設した、これで經濟局は四部になつた。

告!!

米飢饉・人手不足等には既に諸賢御諒察のことと存じます、就ては本紙も六月より四頁に減じます。但し減員しただけ内容の充實によつて償ふ心算です。(社報様)

たわごと 四題

商況部 小 狂 生

或る日

右から「株安の材料は利潤制限で
すか」

その向ふから「歐洲から何か新し
い入電がありますか」

前から「株の一口情報をやるので
すか」

その向ふから「火薬が馬鹿に安い
じゃないですか」

左から「鶏卵が安くになりました」
その向ふから「魚の直配會社が來
月頃開業でそれに續いて青果の
會社も出來そうです」

ボーイの大聲「雜記はまだですか
あ」

「株況は、米況は……」
小生「フー」

折柄又も新手の強敵
「社報に何か一つ」
小生「ア、頭が禿げるワイ」

椽の下の力持

總動員法第十一條で既に利潤は
一應統制されて居るが之れを手温
しとして更に強化する案が二十
二日の證券市場を脅かした、之れ
がその儘實行されるかどうかと市
場人の氣懸りの一つ。

歐洲戦争は一應相場の上に織込
まれたが今後の動きは相當重要視
されて居る、伊太利はどうか、ソ
聯は、バルカンは、近東は、關印
は、之れ等が氣懸りの一つ、

米國が相變らず日本に對してい
く顔を見せない、汪政權否認の聲
明等事毎に敵性態度を示して居る
が今後どうなるかも氣懸りの一つ
凡そ世界の森羅萬象總て無關心
たり得ないのだから金儲けは樂し

やない、併し市場人は金儲けの爲
だからいゝが同じ様な苦勞をして
他人の尻押しをする吾々の立場は
椽の下の力持の標本見たいなもの
だ。

認識不足

我部で日々通信して居る現株通
信、一日五回約二百銘柄を送信し
て居る、西部専用沿線各地で利用
されて居るが仲々苦情が多い。
勿論東京の市場で商内が出来て
居る限り東京中心である自然地方
の實情に即しない部分が多い事は
已を得ない、その中から出来る限
りに地方の要求に合致せしめて行く
事に第一の困難がある。

専用線の能率に悪影響を與へる
事を避けねばならぬ、長短期の様
に商内が規則立つて居ないので人
的配置にも困難な點がある。

聞かされる苦情の中には東京の
事情に對する認識が足りないの
ではないかと思はれる點がある、又
當方でも苦情によつて始めて成る
程と思ふ場合がある。

認識不足と言ふ言葉は一つの流
行語であるが何か急速に解消せ
しめる途はないものか、以上の様
な事は現物通信の場合のみに限つ
た事ではない。

外米追放

瑞穂の國に生れ乍ら今日この頃
はナントハヤ、ポロポロの外米を
嫌々呑み込んで居る有様、時世時
節とあれば我慢も仕様が一日三度
づつは必ず情ない氣持になる。

外米たるやイヤに長細くて色は
味も素氣ない半透明體で石のカケ

ラの様、どぶ見ても命の親の米な
どと言ふ有難味はない小憎らしい
ナリ姿だ。
この外米食ふて調子の變つた腹
でする仕事の外米の様に味もソツ
ケもないものになつたら大變だ、
實は身邊を繞る闇取引、アレモ闇
コレモ闇で大分疲らされて居る場
句だから仕事の上を外米の味が出
て來ぬ様 用心々々

秋田だより

藤澤生

赴任以來早くも二週間になつ
た。都會生活に慣れ切つてゐた
所爲か此處に來てからは、何か
間が抜けたやうな感じがす。しか
し此の静けさの中では却つて落着
いて仕事に打込めることゝ信じて
ゐる。

五月一日から本格放送といふの
で午前八時半から夜十一時まで釘
付状態とふところ。却々風呂に入
るにも余程うまくやらぬと三日も
四日も這入れないふ有様。これは
午後六時頃になつたら汚くて銭湯
へは到底行けぬから午後二時頃ま
でにチャンスを見て行かねばなら
ぬ。然し田舎だけに東京の様には難
音がなくてよく人々も一體に親切
である。店に買物に行つても自分
の店にない時は適當な品を他店か
ら採つて來てくれるこんなところ
は都會には到底見られぬだらう。

- ### 互助會報告 (三月)
- 結 婚
- 押田 次郎(金澤支局)
 - 久木田大二(本社經濟部)
 - 玉井 照代(松山支局)
 - 高野 小次郎(大阪支社)
 - 伊賀 實(同上)
 - 橋原 實(本社放送部)
 - 吉川 貞市(桐生支局)
- 出 生
- 永坂 健二(大阪支社)
 - 石井隆一郎(長崎支局)
 - 野津 康雄(岡山支局)
 - 武内 達雄(大阪支社)
 - 李 誠敬(臺北支局)
 - 小座間 茂(本社整理部)
 - 鹽崎 義雄(本社地方部)
 - 内田幸之助(富山支局)
 - 入 齋 應 召
 - 伊藤 計六(名古屋支社)
 - 見 舞
 - 平西 朝子(關門支社)
 - 湯川 潔己(本社經濟部)
 - 永見 寅太(本社總務部)
 - 岡本 正一(大阪支社)

同盟人事

(四、一〇一四、二三)

- 經濟局參事 秋山 操
- 大阪支社經濟部長 ヲ命ス
 - 經濟局長兼大阪支社 塚本 義隆
 - 長大阪支社經濟部長 塚本 義隆
 - 大阪支社經濟部長兼務ヲ解ク(三
月廿日附、各通)
 - 京支局長 河崎 義男
 - 清津支局長兼務ヲ命ス(三月廿六
日附)
 - 京支局長 坂田 東助
 - 京支局通信主任ヲ命ス(三月十
五日附)

- 編輯局運動 高島 修三
- 編輯局外信部勤務ヲ命ス
 - 編輯局外信部勤務ヲ命ス
 - 編輯局特信部ノ事務ヲ囑託ス(四
月一日附、各通)

- 安本 宣雄(同上)
- 井關 納(同上)
 - 梶谷八州雄(本社經濟部)
 - 片山 政春(大阪支社)
 - 橋口 義雄(同上)
 - 花田チエノ(福岡支社)
 - 村川 武躬(福岡支社)
 - 中島 和夫(京支局)
 - 平西 朝子(關門支社)
 - 光田 稔(同上)
 - 岩崎 敏人(本社經濟部)
 - 櫻井 繁喜(名古屋支社)
 - 小松 利一(本社內經部)
 - 井上 勇(巴里支局)
 - 山本 紀雄(大阪支社)
 - 久木田大二(本社經濟部)
 - 藤澤民之助(秋田支局)
 - 勢田左武郎(本社特信部)
 - 李 銓大(釜山支局)
 - 小野 利幸(大阪支社)
 - 中田 義次(本社寫眞部)
 - 千葉 光壽(大阪支社)
 - 福井 誠正(福井支局)
 - 鶴松 義治(本社發送部)
 - 宮崎 源吾(北支總局)
 - 濱田 秀雄(本社英文部)

- 總務局庶務部 松本 兼吉
- 經濟局勤務ヲ命ス(三月十一日附)
 - 編輯局外信部 村山 謙
 - 英文主任
 - 中南支總局勤務ヲ命ス(三月廿五
日附)
 - 總務局映畫部 上田 勇
 - 總務局映畫部 田中 啓次
 - 齋部 囑託
 - 南京へ出張ヲ命ス(三月十八日附
各通)
 - 岡谷支局 細木 義親
 - 勤務准社員
 - 足利支局勤務ヲ命ス(四月一日附)
 - 京支局長 鈴木 一
 - 勤務社員
 - 清津支局勤務ヲ命ス(三月廿六日
附)
 - 北支總局出張中
(經濟局參事)
 - 本社へ歸還ヲ命ス(三月十四日附)
 - 編輯局政治部 清河 政雄
 - 勤務社員試用

- 同 社
- 石井隆一郎(長崎支局)
 - 橋本伊都子(廣島支局)
 - 小沼 靖(函館支局)
 - 堀 義貴(役員)
 - 根來 重雄(大阪支社)
 - 山田 一郎(本社調査部)
 - 伊吹多喜代(本社經濟部)
 - 石井 きみ(名古屋支社)
 - 中村 精之(本社經濟部)
 - 高橋 幾代(本社英文部)
 - 長田 敏榮(北支總局)
 - 寛 千鶴子(本社經濟部)
 - 杉山 清(本社總務部)
 - 福井 兼子(京支局)
 - 林 禮一(本社發送部)
 - 城山 鐵雄(本社整理部)
 - 溝口フミ子(大阪支社)
 - 矢野眞美香(同上)
 - 成富 好馬(福岡支社)
 - 入野 清治(高知支局)
 - 早川 仁三(本社地方部)
 - 工藤 早雄(大阪支社)
 - 中村 靜子(本社人事課)
 - 小林 春子(本社庶務部)
 - 酒井進太郎(大阪支社)

- 同 社
- 坂口 三郎
 - 通信局英文部 小林 則雄
 - 勤務社員試用
 - 通信局發送部 檜原 實
 - 社員ヲ命ス(三月一日附)
 - 勤務准社員 今高 隆二
 - 社員ヲ命ス(三月十日附)
 - 清津囑託通信員 朴 春 彌
 - 社員ヲ命ス
 - 清津支局勤務ヲ命ス(三月廿六日
附)
 - 准社員ヲ命ス
 - 關門支社勤務ヲ命ス(三月十三日
附)
 - 青森支局勤務 島津 治郎
 - 准社員試用
 - 熊本支局勤務 辻橋八千代
 - 准社員ヲ命ス(三月一日附、各通)
 - 社員試用、編輯局運動部勤務ヲ命
荒井善治郎

ス(三月十四日附) 根本 立
 社員試用、編輯局運動部勤務ヲ命
 ス(三月十八日附) 山内 啓
 社員試用、編輯局調査部勤務ヲ命
 ス(四月一日附) 松本 太信
 社員試用、通信局技術部勤務
 總務局航空部勤務ヲ命ス(三月十
 五日附) 田村 二郎
 社員試用、北支總局勤務ヲ命ス
 (二月一日附) 池上美代子
 准社員試用、經濟局勤務ヲ命ス
 (三月二十日附) 相賀 トミ
 准社員試用、經濟局外經部勤務ヲ
 命ス(三月廿八日附) 仲 喜代子
 准社員試用、經濟局外經部勤務ヲ
 命ス(四月一日附) 松本 友子
 准社員試用、大阪支社勤務ヲ命ス
 (三月三十日附) 高田 愛子
 准社員試用、神戸支局勤務ヲ命ス
 (三月十八日附) 金 壽 一
 准社員試用、清津支局勤務ヲ命ス
 (三月廿六日附) 小原 潔
 免路通信員ヲ囑託ス(四月一日附)
 編輯局東亞部 山崎 清三
 勤務社員
 泰泉寺清三ト改姓(三月十三日)
 大阪支社勤務社員 小畑 重幸
 堀田重幸ト改姓(三月十八日)
 編輯局社會部 種井善二郎
 勤務社員
 職員規程第十九條第二項ニ依リ休
 職ヲ命ス(三月十一日附)
 通信局放送部勤務 林 禮一
 滿洲國通信社出向社員
 滿洲國通信社「歸還」ヲタメ退社
 (三月廿一日附) 荒尾 勝頼
 金澤支局勤務社員
 死亡(三月十六日)
 經濟局勤務 寬 千鶴子
 准社員

依願解職(三月九日附) 總務局經理部 勝田 林藏
 勤務社員
 依願解職(三月十一日附) 關門支社 杉山ヤエ子
 勤務社員
 依願解職(三月十三日附) 福岡支社 村山 潔
 勤務社員
 依願解職(三月十四日附) 富山支局 村瀨 至次
 勤務社員
 大阪支社勤務 八木 さだ
 准社員
 同 神崎加壽枝
 依願解職(三月十五日附、各通) 依願解職(三月十六日附) 依願解職(三月十六日附) 依願解職(三月十六日附)
 京支局勤務社員 福川 兼平
 神戶支局勤務社員 吉川 勝治
 通信局英文部 高橋 幾代
 勤務社員
 大阪支社 小山 さを
 勤務社員
 依願解職(三月十八日附、各通) 依願解職(三月廿日附) 編輯局調查部 山田 一郎
 勤務社員
 名古屋支社 石井 きみ
 勤務社員
 依願解職(三月廿五日附、各通) 依願解職(三月廿七日附) 依願解職(三月廿七日附)
 大阪支社勤務 濱野 菊江
 准社員試用
 通信局整理部 城山 鐵雄
 勤務社員
 京城支局 尾中 一夫
 勤務社員
 同 南部 武夫
 依願解職(二月廿九日附、各通) 經濟局勤務 中村 精之
 准社員
 中南支總局 鶴林 ナヲ
 勤務社員
 高知支局 北野 司
 勤務社員
 依願解職(三月廿一日附、各通) 依願解職(三月廿一日附)
 姫路囑託通信員 松岡源太郎
 依願解職(三月廿一日附) 經濟局外經部長 稻本 國雄
 經濟局次長兼經濟局外經部長ヲ命
 ス(四月廿日附) 總務局業務部長 折橋 慶治
 兼映畫部長

總務局參事ヲ命ス 大川幸之助
 總務局庶務部長 兼航空部長
 總務局業務部長兼務ヲ命ス(四月
 廿二日附、各通) 通信局參事 相良 左
 兼英文部長
 總務局勤務社員 渡邊 純一
 (部長待遇) 通信局長ヲ命ス(四月十七
 日附、各通) 總務局人事部長 鈴木幸次郎
 北支總局華文部長ヲ命ス
 經濟局外經部次長 伊藤勝司
 總務局人事部長次長ヲ命ス
 札幌支局勤務社員 川口孫三郎
 旭川支局長ヲ命ス
 通信局放送部 荻原 榮治
 勤務社員
 小樽支局長ヲ命ス
 通信局整理部 藤澤民之助
 勤務社員
 秋田支局長ヲ命ス
 通信局技術部 大瀧 鹿次
 勤務社員
 臺南支局長ヲ命ス(四月十五日附
 各通) 編輯局政治部勤務 沼佐 隆次
 編輯局政治部 下平 孝吉
 勤務社員
 中南支へ出張ヲ命ス(四月廿日附)
 社員(部長待遇)
 編輯局政治部 牧内 正男
 勤務社員
 總務局勤務ヲ命ス(四月十
 七日附、各通) 總務局勤務社員 永井 皓
 編輯局社會部勤務ヲ命ス(四月五
 日附) 總務局勤務社員 小杉純三郎
 編輯局調査部勤務ヲ命ス(四月十
 五日附) 通信局技術部 菊地 義紀
 勤務社員
 同 三宅 敬
 中南支總局臨時在勤ヲ命ス(四月
 十七日附、各通) 編輯局寫眞部 小笠原 進
 勤務社員

中南支總局臨時在勤ヲ命ス(四月
 廿日附) 樺山 丑二
 中南支總局ノ事務ヲ囑託ス
 京支支局勤務ヲ命ス 勝久
 大阪支社勤務ヲ命ス 元永 茂夫
 京城支局勤務准社
 員(大邱支局駐在) 大邱支局駐在ヲ免ス
 通信局英文部 安保 長春
 休職社員
 復職ヲ命ス 紐育支局勤務ヲ命ス(四月一日附
 各通) 編輯局外 佐々木涼一
 信部次長
 羅馬支局勤務ヲ命ス(四月六日附)
 廣東支局臨時在勤(編
 輯局寫眞部勤務社員) 小林 修三
 本社(歸還)ヲ命ス(四月九日附)
 編輯局特信部 吉田 儀助
 勤務社員試用
 同 岡崎 保
 社員ヲ命ス(四月一日附、各通)
 總務局人事部長 荒野 愛子
 勤務社員試用
 通信局地方部勤 稻葉喜美子
 務准社員試用 山崎 悦子
 同 赤羽根ツル
 准社員ヲ命ス(四月一日附、各通)
 名古屋支社勤 大脇富美子
 務准社員試用 山田良多郎
 准社員ヲ命ス(四月十日附)
 總務局經理部勤務ヲ命ス
 准社員ヲ命ス 矢野 英仁
 准社員ヲ命ス 太田 康正
 通信局地方部勤務ヲ命ス(四月一
 日附、各通) 社員試用、編輯局經濟部勤務ヲ命
 ス 小關 順平
 社員試用、編輯局社會部勤務ヲ命
 ス 橋本 正邦

鹽谷 邦夫
 寶玉 義信
 濱松通信員ヲ囑託ス(四月一日附)
 中支支局通信員ヲ囑託ス(四月十
 日附) 田中 庸夫
 社員試用、編輯局特信部勤務ヲ命
 ス 山口 典彦
 守屋 和助
 八木豐之助
 富田 正章
 福島 修二
 社員試用、通信局地方部勤務ヲ命
 ス 小黒 大洲
 社員試用、通信局放送部勤務ヲ命
 ス 堂上 繁雄
 社員試用、通信局英文部勤務ヲ命
 ス 大野 圭吉
 野中 一郎
 社員試用、大阪支社勤務ヲ命ス
 (四月一日附、各通) 小泉 辰雄
 社員試用、名古屋支社勤務ヲ命
 ス(四月四日附) 佐々木輝生
 社員試用、通信局技術部勤務ヲ命
 ス(四月五日附) 永松 英明
 社員試用、北支總局勤務ヲ命ス
 (四月廿日附) 加賀谷順一
 社員試用、臺北支局勤務ヲ命ス
 (四月十一日附) 城代 鎮市
 社員試用、通信局整理部勤務ヲ
 命ス(三月廿六日附) 加藤キヨ子
 准社員試用、橫濱支局勤務ヲ命ス
 (四月十五日附) 内田きみゑ
 准社員試用、橫濱支局勤務ヲ命ス
 (四月十七日附)

小島 源作
 森田 幸雄
 依願解職(三月廿六日附) 京城支局勤務社員 寺師 宗弘
 依願解職(三月廿六日附) 總務局參事 樺山 丑二
 通信局地方 早川 仁三
 神戶支局勤務 鈴木 正日
 准社員
 依願解職(三月三十一日附、各通) 依願解職(三月三十一日附、各通)
 濱原臨時囑託 阪部 久一
 通信員
 依願解職(三月廿一日附、各通) 依願解職(三月廿一日附、各通)
 福岡支社勤務 成富 好馬
 准社員
 大阪支社 溝口 フミ
 勤務社員
 依願解職(四月六日附) 高知支局 入野 清治
 勤務社員
 依願解職(四月十二日附) 大阪支社 矢野眞美香
 勤務社員
 京城支局 熊谷 正巳
 勤務社員
 依願解職(四月十三日附、各通) 依願解職(四月十五日附、各通)
 大阪支社 工藤 早雄
 勤務社員
 福岡支社 坂田 治三
 勤務社員
 總務局人事部長 中村 靜子
 總務局庶務部 小林 春子
 勤務社員
 關門支社勤務 平西 朝子
 准社員
 依願解職(四月二十日附、各通) 依願解職(四月十五日)
 准社員

原稿締切
 毎月廿日